

第3回うきは市総合教育会議 概要 平成 28 年 3 月 29 日(火)17:30~18:30

◆市長あいさつ

年度末でお忙しいうえ、夜間の会議となり、たいへんご苦労様です。第1回、第2回と、教育施策、特色のあるうきは市ならではの教育とは何か等について協議いただきました。ここに、うきは市教育大綱案をとりまとめました。これで終わりではなく、次のステップへ向かって、具現化すべき議論をさらに積み重ねていきたいと思えます。素案を軸にして議論していただきたいし、大綱策定にもっていききたいと思えます。

◆事務局:金子企画財政課長より、素案の説明

「はじめに」では、子どもたちがみずから生き抜く力を養わなければならないこと、子どもたちに故郷を愛する子になってほしいことを盛り込みました。教育大綱には、基本計画が学校教育中心ですが、生涯学習の要素も付け加えました。基本方針1は、学校教育関連、基本方針2は、社会教育・生涯学習関連。基本施策は、1より3は学校教育、4が生涯学習という構成にしています。

◆教育大綱素案の協議

- 1ー「現在の子どもたちを取り巻く環境～」の部分が長いし、主語・述語等の文章の変更が必要です。
- 2ー現状で、将来が見通せない、変化の激しい中どう対応していくのか、教育の中でどうつたえていくのか。たとえば、ICTを進めるとき、知識の蓄積ではなく、得た知識をどう活用していかのかが大事だし、教育への変化が求められる。情報を集めてどう生かしていくかが、今後の学習指導要領で求められます。→平田オリザさんの講演で「スマホで知識は関係ない。文化・芸術のセンスが問われる。一流の芸術にふれることが大事。一流美術館がある東京と、無い地方では格差が広がると言われている。地方は、芸術文化のセンスに力を入れた方がよい。」
- 3ー現状分析はマイナス部分が多いが、いい部分も取り入れてほしい。ICTの方向性の中にプラスをいれる、子どもたちは柔軟にICTを取り入れることができる、やり方さえ変えれば、プラスになる。
- 4ー現状の課題を盛り込みすぎたようだ。プラスを伸ばすような表現にしていきたい。
- 5ー経済格差は入れない方がよいのではないかと。当事者にとっては厳しいもの。もっとシンプルにしていって方が伝わりやすい。
- 6ー文字の抜けている部分がある（細やか指導→細やかな指導）。だぶっている部分がある（ためのの、・・・ための）等の文字の修正

◆教育大綱の広報・啓発のしかたについて

- 1ーホームページ等で市民の皆様から意見をいただくことが多い。教育大綱ができたなら、ホームページでアップしてください。
- 2ー4月14日の教職員説明会、8月のICT教育説明会、8月には、子育てと教育を進めるつどいがあるので、その場で活用できたらと思う。→4月14日に、教育振興基本計画を説明するのであれば、セットで「教育大綱」も説明してもらいたい。

◆今後の教育大綱の進め方について

- 1ー地方創生の目玉は、教育である。市民の声を聞いてもいいと考えている（子どもに勉強を教えるスーパーの取り組み、地域おこし協力隊が高校生の通訳を育成する取り組み等）。また、進んでいると言われる食育を、掘り下げて議論もしていきたい。
- 2ー学校の適正配置についても論議してもらいたい。
- 3ー一定例会を3回開催にして、臨時開催も適宜召集するということではどうでしょうか。